

はじめに

Introduction

旭川というまちを、皆さんはどんな風に見ていますか？
生活の場として見たまちと、
働く場として見たまちは、また違う印象のはずです。

まちには、魅力もあれば課題もあります。
旭川に住むたくさんの人のさまざまな活動や仕事は、
そこに深く関わっています。

これからの地元を創造するのは、高校生である皆さんです。
現在の旭川市の姿を踏まえて、
これからの旭川がどうなっていくなら住みよいのか、
また、そこに自分がどう関わっていくのか、考えていきましょう。

■各都市との距離

北海道内の交通の要となる地で、近隣に旭川空港があり、東名阪や海外などとの空路も有しています。



まち

■市域面積・標高

北海道の中央部、
丘陵に囲まれた上川盆地の中央に位置し、
市域面積は道内 24 位の広さを誇ります。



Field Study

高校生の声 Voice

旭川市の高校生に
旭川市の好きなところ、
もっとこうなったらいいと思うところを
聞いてみました。
旭川市内の高校生から実際に挙がった声を見て、
あなたはどう感じますか？
また、自分なりの意見を挙げてみましょう。

Keyword ①

食・健康・医療

食べ物や水がおいしい↗
大きい病院がある↗
日常の買い物に困らない↗
物価が安い↗

Keyword ②

人権

優しい人が多い↗愛想が悪い↘

Keyword ③

環境・交通・防災・物流

道路が広い↗
ほどよく都会↗
自然や公園が多い↗
災害や事件などが少ない↗
本などが発売日当日に買えない↘
夏は暑く、冬は寒くて雪が多い↗
北海道各地に行きやすい↗
市内交通の便が悪い↘
道路の整備が行き届いていない↘
海がない↘

旭川市の 基本データ

1

Asahikawa

医療、福祉など、さまざまな
都市機能が集積し、四季明瞭で安心・安全な
北海道の拠点都市です。

1922(大正11)年に市制が施行となった旭川。1955
(昭和30)年から近隣町村との合併が進み、1971
(昭和46)年に現在の姿となりました。2000(平成
12)年には道内で初めて、中核市に指定されまし
た。年間の寒暖差、昼夜の寒暖差がともに大きく、
四季が明瞭で冷涼な気候が特徴です。地震や台
風などの自然災害が少ないという特徴もあります。

最低気温：
-41.0℃
最高気温：
36.0℃

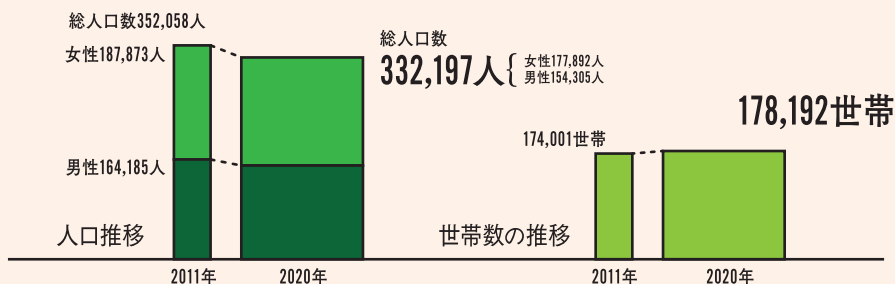
今後30年間の
震度6弱以上の
大地震の発生確率
0.55%
(全国最小)

ひと

■旭川の人口と世帯数

旭川の人口は道内第2位。総人口は約33万人で、これは群馬県の県庁所在地・前橋市の人口に匹敵します。しかし、近年は男女ともに減少が続いています。一方で、世帯数は増加しており、核家族化の進展、単身世帯が増加していることを示しています。

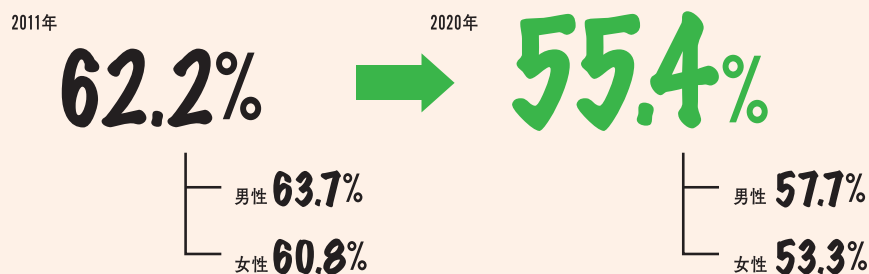
出典：住民基本台帳(旭川市)、2020年は9.1時点、2011年は8.31時点



■人口に占める生産年齢人口

生産年齢人口とは、15～64歳までの、経済活動・労働力の中核となる人口のことです。旭川市の生産年齢人口は年々減少しています。少子高齢化を背景にした自然減で、これからも減少は続く見込まれます。

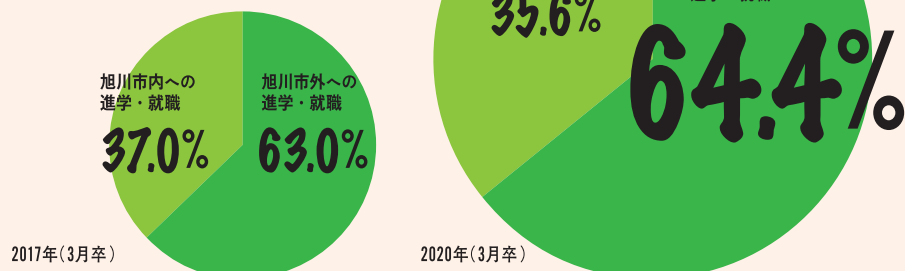
出典：住民基本台帳(旭川市)、2020年は9.1時点、2011年は8.31時点



■高校卒業後の高校生の動向

毎年、旭川市の高校生の約6割が卒業後に市外に進学・就職します。そのまま市外で定住することが多く、市の生産年齢人口比率低下に影響しています。

出典：進路状況調査(旭川市)



Keyword ①

まちづくり

まちがきれい↗
中心部から離れると何も無い↘
地区で暮らしやすさに差がある↘
除雪が行き届いていない↘
地下通路がない↘

Keyword ②

カルチャー・レジャー・ 旅行・観光・ファッション

動物園など有名な観光施設がある↗
景色がきれい↗
地元のイベントがたくさんある↗
アウトドアが楽しめる↗
行きたいお店がない↘
遊べるスポットが少ない↘
接客の質が低い↘
東京などで行われるイベントが来ない↘
お店の商品の品揃えが悪い↘

Keyword ③

デザイン・ものづくり

駅など施設がきれい↗買物公園などが楽しい↗

実際のところは
どうだろう？

しごと

■旭川市の事業所数、従業者数

旭川市は事業所数、従業者規模ともに道内シェア第2位です。しかし、データを見ると第1位の札幌市との数値は大きく離れています。北海道の事業所のうち3割は札幌市にあり、札幌に一極集中しています。

出典：H28経済センサス活動調査及びH26経済センサス-基礎調査（総務省）、北海道上位5都市

旭川市の 基本データ

2

Asahikawa

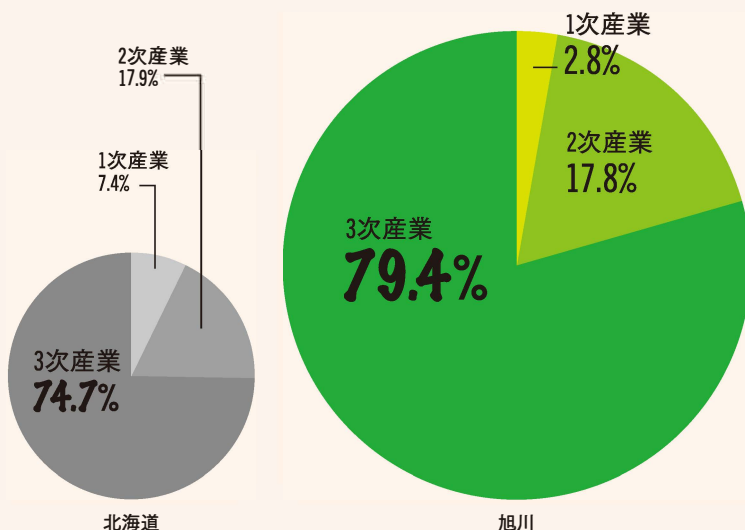
Data

	事業所数	シェア	従業者数	シェア	
旭川	14,493 所	6.5%	139,204 人	6.4%	旭川
札幌	72,451 所	32.2%	838,911 人	38.7%	札幌
函館	12,918 所	5.8%	112,081 人	5.2%	函館
帯広	8,804 所	3.9%	78,882 人	3.6%	苫小牧
釧路	8,268 所	3.7%	78,576 人	3.6%	帯広

■産業別就業者割合

旭川は全国有数の米どころ。食料品、家具、紙・パルプなどの製造業や、地理的条件を活かした卸・小売業など多様な産業があります。旭山動物園やスキー場などを有し、観光業も盛んです。旭川は北海道内で見ると、1次産業の就業者割合が低く、3次産業の就業者割合が高い傾向があります。

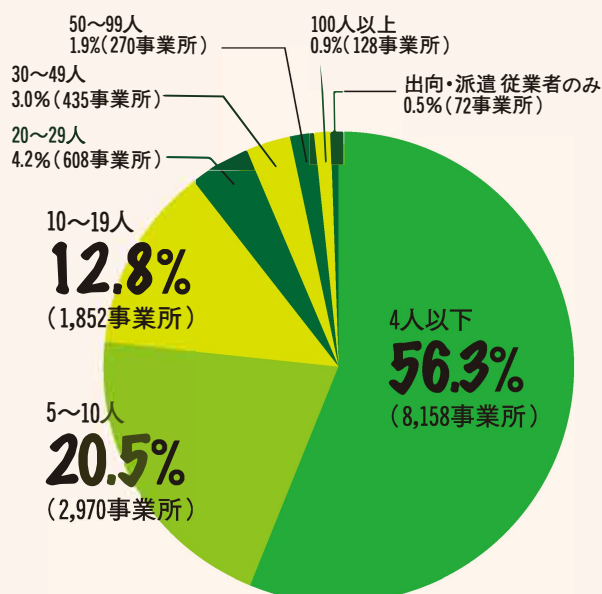
出典：H27国勢調査（総務省）



■旭川市内事業所の従業者規模別割合

従業者数が19人以下の事業所が約9割を占め、4人以下の事業所も5割を超えています。旭川市の経済活動や人々の暮らしは、中小の企業に支えられて成り立っています。

出典：H28経済センサス活動調査（総務省）

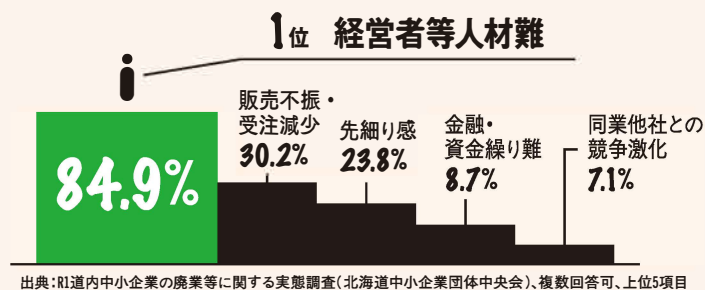


■旭川の企業や事業所が抱える課題

北海道内の企業の自主廃業の主因は、経営者等の人材難となっています。旭川市に目を向けると、「市内企業が取り組んでいるまたは取り組む予定の経営課題」の最優先事項は「従業員の育成・確保」で、「雇用に関する問題点」でも人の確保が挙げられています。少子高齢化、人口減少が進むなか、優秀な若い人材の確保・育成が急務であり、少人数で事業を運営するための新たなアイデアの導入、イノベーションも求められています。

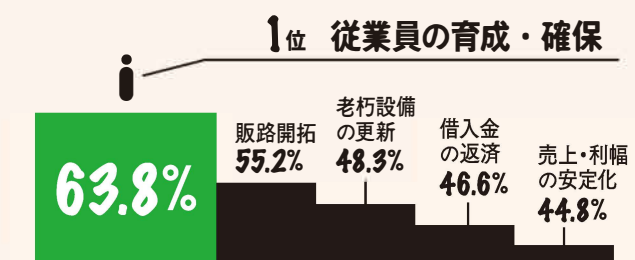
若い人材の活躍が期待されています。

課題①自主廃業の理由



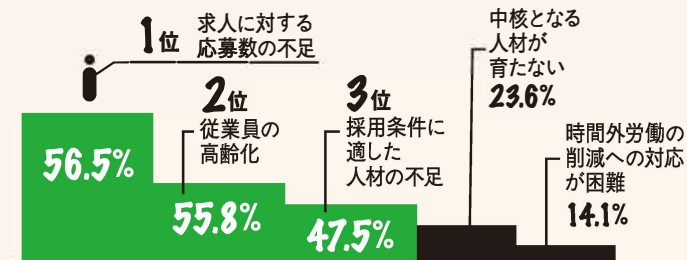
出典：R1道内中小企業の廃業等に関する実態調査（北海道中小企業団体中央会）、複数回答可、上位5項目

課題②市内企業の経営課題



出典：R2.6旭川市中小企業経営状況アンケート調査（旭川市）、複数回答可、上位5項目

課題③市内事業所の雇用に関する問題点



出典：R1旭川市労働基本調査（旭川市）、複数回答可、上位5項目